

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスひまわりみさき公園		
○保護者評価実施期間	R6年9月1日		～ R6年10月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R6年9月1日		～ R6年10月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自宅や学校以外に楽しい・面白い場所を提供し、お互い協力して行く事で優しさ・思いやりを養う・可能性を大切に気持ちの前向きになれるような手作業療育を取り入れる	カクガや制作を通して、表現する喜びを体験し、人への関心を育み、意欲的に関われるような豊かな感受性が芽生えるように支援	宿題・療育・創作を通して基礎的なスキルをあげ、自分にとって面白い楽しいを見つけられるように支援
2	基本的な生活習慣を身に付け社会性を育て、18歳からの就労支援、独立に繋げる	基本的な日常生活や自立生活を支援し、成功体験の積み重ねを促し自信へと繋がるようにし、社会経験の幅を広げると共に、地域と交流していけるように支援	地域交流、人との関わり、成功体験の積み重ねにより、気持ちの調整する力、主張する力、折り合いをつける力が向上するように支援
3	保護者支援	保護者が抱えている不安や悩みが少しでも軽減できるようにし、保護者同士のコミュニケーションが取れるように支援	保護者相談会を行ったり、保護者の方が少しでも時間や気持ちにゆとりが持てるように支援

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会や地域の方々との交流が少ないと思われるので、今後は父母会の開催を検討し色々な意見を取り入れ、運営できるように支援していきたいと考えます。	事業所オープンの中で代表の気持ちが地域や父母会までいきとどいてなかった。今後は、今まで見えていなかったことにも目を向け運営を行っていきます。	神戸市から頂ける情報発信や私たちが研修などで知りえた情報などをご家族の方達にもお伝えしていく。いろいろな社会資源があることも含めお伝えしていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスひまわりみさき公園
------	---------------------

公表日 7 年 2月 15日

回収数 12

利用児童数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3		2		既定のスペース確保はしています。物を置く場所を工夫し少しでも広いスペースが取れるよう工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			3		職員配置は、規定の職員配置を行っています。土曜日のお出かけの際は、なるべく職員増員も心がけています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1		全てのスペースでバリアフリーになっております。トイレは手すり付けてます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8		2	2		朝、夕の掃除機かけています。おもちゃや療育グッズの整理整頓も心がけています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2		2		一人一人の特性を見ながら個別療育に取り組んでいます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1		3		ほぼ、支援プログラムにそった療育を心がけています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1		3		個別支援計画書の説明は、面談時に説明し理解して頂いていると思っています。その他の問題があれば、個々の公式LINEで相談等を受付しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1		3		開所約一年なので具体的にできているか・できていないか、出来ているとは思っていますが、どの親御様からもできていると判断されるよう努力していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1		3		出来ていると思います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		1		色々なプログラムやイベントを考え行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2		8	特に必要だと思わない	児童館や児童クラブの交流は行っていませんが、通所している児童の姉妹との交流は何度か機会を持ったことがあります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	2		1		契約時や見学時に説明を行っている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1	2	1		面談時は、計画書の説明、普段の様子をお伝えしています。それ以外に利用日に各ご家庭にLINEで写真を送り、デイの様子をお伝えしている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	3	4		行っていません。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12					送迎時に親御さんとお話をするかLINEでのやり取りで、何か変化があるとお伝えしている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	4				年に2回面談を実施しています。それ以外に必要である場合は、LINEや電話、面談を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	3				児童の様子等がもっとわかっていたらよい日々の様子を詳しくお伝えでき、日々、共感できるよう支援していきたいと思っています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	5	3		今後の課題として交流等を検討していきたいと思っています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1				何か相談があればすぐに対応しています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1			イベント連絡は、利用申し込み用紙に提示しています。イベント前にも必ずご家庭に連絡を入れるようにしています。児童にもイベント内容の話をするようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2		1	普段の様子はLINE等で個々にお伝えしています。年数回ひまわり新聞発行も行っております。Instagramの発信も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		2	新聞発行時やInstagramアップ時アップ時は、親御さんに確認し発信しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	4		1	マニュアルは作成しています。緊急時の避難場所や連絡先の確認もできていますが、マニュアルがないの周知はしていませんでしたので今後、周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		5	年間2回避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	8		3	なるべく重たいものをデイルームの棚には置かないようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		2	問題が発生した際は、送迎時にお伝えし翌日にも児童の様子を確認するようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			2	思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				していると思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	4			とても良い事業所です。 食べ過ぎなどは改善して欲しい 今後も満足していただけるよう職員と努力イベントや支援内容について検討していきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスひまわりみさき公園	公表日		2025年2月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	机などを移動し、広いスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		既定の人員配置は行っている。児童の数は多い時は人員を増やし対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		トルや靴箱に写真を貼るなどし児童が視覚ですぐにわかるよう支援している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		トルの分解掃除や部屋の掃除はみおこなっている。壁に児童の製作物を掲示している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童の様子で事務所を個別の場所として利用する事を認めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		月2回会議を設けている。その際に色々な課題で話し合いや研修をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様からの意見等があれば都度、職員間で話し合いをしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月2回会議を設けている。その際に色々な課題で話し合いや研修をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者評価を行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員が受講後、毎月2回社内研修や情報を共有している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで公表されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		年2回保護者との面談をし支援計画について話している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		毎月ケース会議にて検討し、職員間で共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		月に1回ケース会議を行い、各児童の情報を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全員で話し合いながら企画イベントを考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員から各々意見を出し合いイベント企画を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		行っている	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝のミーティングで行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	翌日朝会で前日の振り返りをしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日ケース記録を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年2回の親御さんとの面談で見直し継続を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1	①自立支援と日常生活の充実②創作活動③地域交流④余暇活動の内容を支援に取り入れ支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		余暇活動や療育等も子供たちの意思が職員に伝えられるよう声をかけるなどの支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	相談支援事業所の担当者会議の出席は管理者・児童発達管理責任者が出席をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	デイサービスから一番近い病院との連携をお願いしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校の行事予定を保護者をお願いしてコピーをいただいている。不安に思うときは、学校へ連絡し学校の終わる時間の確認をすることもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		今できていないので、今後は検討し情報が共有できるよう支援していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		まだ卒業生いない。今後、卒業生ができた際は、就労支援事業所へ今までの児童の様子や療育内容を伝えていきたいと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		今のところできていない。検討してきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	2	児童クラブや児童館との交流はないが、利用している児童の姉妹との交流を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		今は、行っていない。今後、参加していきたいと思う。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		来所時は毎回写真と共にデイの様子をLINEで知らせし、デイの様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		家族が参加できる研修は行っていない。今後は、検討し家族参加できるイベントを企画していきたいと思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用前の見学時に児童について話を聞き、療育内容等を決定している。利用者負担額等は毎月、利用明細書をお渡ししている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		年2回の保護者との面談時に確認し説明を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		年2回の保護者との面談時に確認し説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があれば行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4		父母の会は、今のところない。今後は検討し保護者同士で交流の場が提供できればと思っている。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		何か問題が起きた際は、職員間で問題を共有し話し合い対応している。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		ひまわり新聞を作り、年4回発信している。それ以外にInstagramで日々の療育様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		職員間で徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		各児童の特性にあった方法で対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	夏：そうめん流し・冬：クリスマス会等 年末に事業所近くの株式会社ヒョウベイさんに餅つきの招待して頂き参加した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		職員及び児童の避難場所・連絡先は把握し事務所に掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		職員間のBCPの研修・児童を伴う避難訓練実地をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者との面談時、薬の服用や自宅での対応をその都度確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者との面談時、アレルギー等の確認は必ず行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		職員研修を行い職員間で話し合いをしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		デイサービスの避難場所を家族に伝え、自宅での避難場所の確認を行い、事務所に提示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットは記入後職員が見れるように事務所に置いている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に職員研修に取り入れている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			今のところ拘束事例もなく運営しているが、今後、拘束事例が発生した際は、保護者の同意・説明を行い計画書に記載していく。